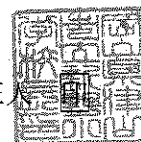


(様式)

平成25年度 津山市立新野小学校 学校評価書

校長 鷹取 正人



1 自己評価

I 評価結果

- ①学力を向上させる…板書構成を明確にする「板書カード」や「授業参観カード」の活用、ノート指導の徹底、机に出す学用品の限定、家庭学習の習慣化への取組みができた。
総合評価B
- ②豊かな心と体の育成…自己肯定感は、78%の児童がある。「規律」や「礼儀」の指導を徹底した。「いじめ」に類する事案に対しては、校長を中心として、生徒指導委員会と担任が連携して、組織的な対応を迅速に行った。保健・安全管理は、良いが、保健・安全指導は、今一步だった。総合評価B
- ③特別支援教育の推進…定期的なケース会議の開催や支援員等の柔軟な指導時間の設定、外部からの専門家の招聘による指導・助言により、支援を要する児童が、安定した学校生活を送ることができた。総合評価A
- ④地域・保小中との連携…毎月の学校便り発行やホームページの更新による情報発信、学校支援地域コーディネーターとの適切な連携により、多彩で豊かな教育活動が展開できた。保・小・中で「ノーメディア」を取組んだが、分析・検討や家庭への啓発が、今一步だった。総合評価B

II 分析・改善方策

「板書カード」や「授業参観カード」の使用、ノート指導の徹底をよりいっそう取組む。全学級において、必要の無い学用品を机に出させないようにする。家庭学習の提出率を100%に近づける。「いじめ対策委員会」を設置し、「いじめ問題対策基本方針」に基づいた指導により、「いじめ」の根絶を続ける。特別支援教育においては、ケース会議を引き続き定期的に関くとともに、外部機関から専門家を招聘して、指導助言を受け、適切な支援や指導を行う。学校だよりやホームページによる情報発信を継続し、学校支援地域コーディネーターと連携を密にして、さらに豊かで多彩な教育活動を展開する。「ノーメディア」の取組みの分析を丁寧に行い、十分な啓発活動をする。

2 学校関係者評価委員会

安東 伴治 (新野学区教育推進協議会会長)	福原万寿子 (学校支援地域コーディネーター)
山本 祐之 (区長代表)	内田 泉 (新野小学校PTA会長)
豊岡万智子 (勝北風の子こども園園長補佐)	

3 学校関係者評価

「板書カード」の使用やノート指導の徹底は、重要である。「授業参観カード」の項目が具体的で良い。総合的な評価ができ、適切なアドバイスができる。学用品等の学習規律の指導は、大切だ。授業は、シンプルなのが良い。自己肯定感を上げることに関心した。社会に出る時にも極めて重要だ。本校で6年間学んだ6年生が、堂々と自信を持っていて良い。「いじめ」への組織的な対応を続けてほしい。トイレのスリッパが整然と並んでいた。「やって見せる」指導が肝心だ。挨拶はできている。特別支援教育への取組みは、今後も継続していただきたい。地域との連携や他の園・学校との連携は、適切である。

4 来年度の重点取組 (学校評価を踏まえた今後の方向性)

- 1 指導技術を高め、授業改善を行い、わかる授業・楽しい授業づくりを進める。
- 2 基礎基本の定着に向けて、くり返し学習・補充学習・少人数指導等を取り入れ、個に応じた指導を充実させる。
- 3 一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導と必要な支援を行い特別支援教育を充実させる。
- 4 児童の達成感を大切に、自己肯定感を育てる積極的な生徒指導を推進する。